

# 千葉の貝塚群を世界遺産に!

## ～千葉の貝塚群とまちづくりを考える～

人と自然が共生した循環型社会の原点ともいえる縄文時代は、今から1万数千年前、私たちの住む地球の長い氷河期がようやく終わりを告げる時代に始まりました。縄文時代は約1万年続き、居住地周辺の資源を最大限に活用したより安定的、循環的な定住生活が始まり、列島各地に村が生まれ、地域間の交流も行われていました。

千葉県には、数多くの貝塚が生まれ、その密度、集中度は世界一といわれています。とくに縄文時代中期から後期にかけて、野田市から木更津市までの東京湾東岸域には巨大環状貝塚が形成されました。その代表例が、千葉市にある加曽利貝塚であり、1971年と1977年に国の史跡に指定されています。

この千葉の貝塚群を世界遺産にする運動を開始すべく、ここにシンポジウムを開催します。ご関心のある方は是非このシンポジウムに参加しスローライフの縄文人が残した貝塚群を手掛かりとし、縄文人の生活や千葉のまちづくりについて、一緒に考えてみませんか。

日時：2008年9月28日(日) 午後1時～5時  
(開場受付12時30分)

場所：千葉県立中央博物館 講堂及び会議室

- 講演1 「千葉の貝塚群の歴史的意味を考える」  
講師：千葉市立加曽利貝塚博物館 副館長 村田六郎太氏
- 講演2 「千葉の貝塚群から読み解く縄文人の生活」  
講師：千葉県立中央博物館 歴史学研究科上席研究員 清藤一順氏
- 講演3 「世界遺産の町から一郷土の宝を守る」  
講師：(株)NHK エンタープライズ 世界遺産事務局長 須磨章氏
- 分科会 A分科会テーマ 「縄文時代のスローライフを考える」  
B分科会テーマ 「貝塚をまちづくりに生かすには」  
C分科会テーマ 「千葉の貝塚群を世界遺産にしよう」

参加費 500円 (資料代)

定員 150名 (定員内の場合は当日参加も可能です)

申込み ポーンセンター事務局 貝塚シンポジウム実行委員会 宛  
住所・氏名・性別・TEL/FAX、E-mail address をご記入の上  
9月25日までに下記へお申込みください

E-mail: born\_kaiduka@yahoo.co.jp 又は Fax: 020-4624-9220

主催：NPO法人千葉まちづくりサポートセンター(通称：ポーンセンター)

協賛：千葉東ライオンズクラブ・加曽利貝塚博物館友の会

後援：ちば生物多様性県民会議・ちばNPO協議会・里山シンポジウム実行委員会